

■ 社会学科基礎演習について

社会学科の基礎演習は、社会学科1年生のために特別に設けられた少人数教育です。その目的は主として次の2つです。

(1) 2年生以降社会学を専門的に学習・研究していく際の基礎となる教育

● 大学で学問をどのように学んでいけばいいのか、その基礎的な方法を教えます。

- ・ 問題発見・設定の仕方
- ・ 文献・資料の探し方(図書館利用法を含む)
- ・ 文献・資料の読み方
- ・ レポートの書き方

(2) ホームルーム

● 基礎演習クラスは、社会学科の学生にとってホームルームとしての役割も持っています。クラスのメンバーと親睦を深め、また担当教員に何でも相談してください。

なおクラス分けは、入学後大学側で決定します。

■ 社会調査士について

◎社会調査士とは

「社会調査士」とは、社会調査の知識や技術を用いて、社会事象や世論などを把握できる能力を有する「調査の専門家」です。調査の企画から報告書作成までの社会調査の全過程を学習・経験することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘することができます。

◎社会調査士の種類

- ◆ 一般社団法人 社会調査協会認定資格
- ◆ 松山大学人文学部認定資格

◎社会調査士になるためには

社会調査士指定科目を履修し、必要な知識や技能を身につけ、社会調査実習で実際の調査を経験し、正しい社会調査の能力を身につけます。これら指定科目の単位修得が必須です。松山大学人文学部認定資格では、これに加えて論文審査に合格しなければなりません。

「社会調査協会」と「松山大学人文学部」認定の社会調査士は、指定科目が同様のため、同時に資格取得を目指すことが可能です。

※詳細は、下記の松山大学人文学部社会学科ホームページ「社会調査士」を参照してください。

<https://www.matsuyama-u.ac.jp/faculty/jinbun-society/faculty-110431/>